



平成25年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月7日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 テー・オー・ダブリュー

コード番号 4767 URL <http://www.tow.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼最高執行責任者(COO) (氏名) 江草 康二

問合せ先責任者(役職名) 常務取締役兼執行役員管理本部長 (氏名) 木村 元

TEL 03-5777-1888

四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日

配当支払開始予定日

平成25年3月8日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年6月期第2四半期の連結業績(平成24年7月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年6月期第2四半期	6,749	△1.2	505	△8.9	510	△9.4	290	△2.4
24年6月期第2四半期	6,829	18.3	555	67.8	563	71.8	297	93.3

(注) 包括利益 25年6月期第2四半期 305百万円 (34.0%) 24年6月期第2四半期 228百万円 (33.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年6月期第2四半期	25.46	—
24年6月期第2四半期	26.09	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年6月期第2四半期	8,428	5,284	62.7	463.39
24年6月期	9,389	5,193	55.3	455.58

(参考) 自己資本 25年6月期第2四半期 5,280百万円 24年6月期 5,192百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年6月期	—	13.00	—	19.00	32.00
25年6月期	—	14.00	—	—	—
25年6月期(予想)	—	—	—	14.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年6月期の連結業績予想(平成24年7月1日～平成25年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,650	△9.2	826	△15.1	831	△15.9	463	△8.9	40.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年6月期2Q	12,242,274 株	24年6月期	12,242,274 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

25年6月期2Q	845,954 株	24年6月期	845,189 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年6月期2Q	11,396,966 株	24年6月期2Q	11,397,171 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、【添付資料】P.3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業的前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
4. 補足情報	11
(1) 販売の状況	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期のわが国経済は、復興関連需要などから国内需要が堅調に推移する中で緩やかな回復の兆しが見られたものの、欧州債務危機の再燃や、長期化する円高により依然として先行き不透明となっております。

当社グループの属する広告業界におきましては、大手広告代理店の第1四半期(4～6月)は、震災の反動増もあり、前年同期比で堅調に推移しましたが、第2・第3四半期(7～12月)におきましては景気の先行き不透明感から、広告需要に減速感が見え始めました。当社グループの事業領域であるプロモーション領域におきましても、その傾向は同様であります。

このような事業環境の中、当社は活発なコミュニケーション活動が続く飲料・食品メーカーならびに携帯キャリア(スマホ)、エコカー補助金終了に向け活性化した車メーカーなどのプロモーション・広報案件を積極的に取り込むことに成功しましたが、前年同期の震災関連案件や東京モーターショーの反動減を補うにはわずかに及ばない結果となりました。

この結果、当第2四半期の売上高は67億49百万円(前年同四半期比1.2%減)、営業利益は5億5百万円(前年同四半期比8.9%減)、経常利益は5億10百万円(前年同四半期比9.4%減)、四半期純利益は2億90百万円(前年同四半期比2.4%減)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ8億85百万円減少の70億64百万円となりました。これは主に、現金及び預金が3億26百万円増加しましたが、未収入金が10億47百万円減少したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ75百万円減少の13億63百万円となりました。

固定資産のうち有形固定資産は、前連結会計年度末に比べ1百万円減少の74百万円となりました。これは主に、工具、器具及び備品が7百万円増加しましたが、有形固定資産の減価償却が8百万円増加したことによるものであります。

無形固定資産は、前連結会計年度末に比べ5百万円減少の39百万円となりました。これは主に、無形固定資産の減価償却によるものであります。

投資その他の資産は、前連結会計年度末に比べ68百万円減少の12億50百万円となりました。これは主に、投資有価証券が23百万円増加しましたが、繰延税金資産が94百万円減少したこと等によるものであります。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ10億55百万円減少の27億91百万円となりました。これは主に、役員賞与引当金が20百万円増加しましたが、未払法人税等が4億66百万円、買掛金が3億23百万円、その他が2億88百万円減少したこと等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ3百万円増加の3億52百万円となりました。これは主に、役員退職慰労引当金が6百万円増加しましたが、退職給付引当金が2百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ90百万円増加の52億84百万円となりました。これは主に、利益剰余金が73百万円、その他有価証券評価差額金が15百万円増加したこと等によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べて3億26百万円増加し、当第2四半期連結累計期間末は、17億19百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は5億65百万円(前年同四半期は3億1百万円の使用)となりました。これは主に、法人税等の支払額が5億11百万円、仕入債務の減少額が3億23百万円、その他流動負債の減少額2億91百万円ありましたが、未収入金の減少額が10億47百万円、税金等調整前四半期純利益が5億5百万円あったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は22百万円(前年同四半期比61.0%減)となりました。これは主に、その他の支出が10百万円、有形固定資産の取得による支出が8百万円あったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は2億16百万円(前年同四半期比280.5%増)となりました。これは主に、配当金の支払額が2億16百万円あったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後のわが国経済は、12月の政権交代によるデフレ脱却政策への取り組み期待から円安・株高の動きが見られるなど、先行きへの期待感が現れ始めておりますが、長引く欧州債務危機問題、近隣諸国の経済成長の鈍化が懸念されるなど、依然として予断を許さない状況で推移しております。

こうした状況を鑑み、連結業績予想につきましては、平成24年8月6日公表の業績予想から変更しておりません。

配当につきましては、中間配当金を1株につき14円、期末配当金を14円、通期で28円を予定しており、平成24年8月6日の公表から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社グループは、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年7月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,392,565	1,719,272
受取手形及び売掛金	2,350,008	2,286,691
未成業務支出金	264,506	237,019
未収入金	3,768,727	2,721,481
前払費用	36,586	34,922
繰延税金資産	118,085	37,830
その他	20,295	27,659
流動資産合計	7,950,775	7,064,878
固定資産		
有形固定資産	75,875	74,480
無形固定資産	44,578	39,005
投資その他の資産		
投資有価証券	530,982	554,745
保険積立金	313,307	323,851
繰延税金資産	237,679	142,790
敷金及び保証金	228,075	224,975
その他	8,410	3,860
投資その他の資産合計	1,318,455	1,250,223
固定資産合計	1,438,909	1,363,708
資産合計	9,389,684	8,428,587
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,729,079	1,405,187
短期借入金	840,000	840,000
未払法人税等	509,443	43,183
賞与引当金	16,690	19,121
役員賞与引当金	—	20,973
その他	751,921	463,473
流動負債合計	3,847,134	2,791,940
固定負債		
退職給付引当金	172,022	169,211
役員退職慰労引当金	174,306	181,069
その他	2,300	2,300
固定負債合計	348,629	352,580
負債合計	4,195,763	3,144,520

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	948,994	948,994
資本剰余金	1,027,376	1,027,376
利益剰余金	3,728,359	3,801,989
自己株式	△470,279	△470,606
株主資本合計	5,234,452	5,307,753
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,500	19,803
土地再評価差額金	△46,614	△46,614
その他の包括利益累計額合計	△42,114	△26,810
新株予約権	1,582	3,123
純資産合計	5,193,920	5,284,066
負債純資産合計	9,389,684	8,428,587

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
 【四半期連結損益計算書】
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年12月31日)
売上高	6,829,701	6,749,370
売上原価	5,889,319	5,844,089
売上総利益	940,381	905,280
販売費及び一般管理費	384,830	399,366
営業利益	555,551	505,913
営業外収益		
受取利息	2	3
受取配当金	4,216	4,208
有価証券利息	1,770	1,770
消費税差益	3,688	—
雑収入	1,755	3,547
営業外収益合計	11,433	9,529
営業外費用		
支払利息	2,875	2,879
売上債権売却損	558	1,982
雑損失	0	0
営業外費用合計	3,433	4,861
経常利益	563,551	510,580
特別利益		
関係会社株式売却益	17,176	—
特別利益合計	17,176	—
特別損失		
会員権評価損	—	4,600
特別損失合計	—	4,600
税金等調整前四半期純利益	580,727	505,980
法人税、住民税及び事業税	270,843	49,122
法人税等調整額	12,521	166,684
法人税等合計	283,365	215,806
少数株主損益調整前四半期純利益	297,362	290,173
四半期純利益	297,362	290,173

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	297,362	290,173
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△69,319	15,303
その他の包括利益合計	△69,319	15,303
四半期包括利益	228,042	305,477
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	228,042	305,477

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	580,727	505,980
減価償却費	18,821	15,066
のれん償却額	2,100	2,100
株式報酬費用	211	1,541
保険解約損益(△は益)	△188	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	3,137	2,430
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	27,610	20,973
退職給付引当金の増減額(△は減少)	6,303	△2,811
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	6,397	6,762
受取利息及び受取配当金	△5,988	△5,982
支払利息	2,875	2,879
関係会社株式売却損益(△は益)	△17,176	—
会員権評価損	—	4,600
売上債権の増減額(△は増加)	△929,268	63,316
未収入金の増減額(△は増加)	△1,055,941	1,047,245
たな卸資産の増減額(△は増加)	△104,041	27,546
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△5,607	△5,080
敷金及び保証金の増減額(△は増加)	3,100	3,100
仕入債務の増減額(△は減少)	955,811	△323,891
その他の流動負債の増減額(△は減少)	281,707	△291,946
小計	△229,408	1,073,832
利息及び配当金の受取額	5,988	5,982
利息の支払額	△2,888	△2,875
法人税等の支払額	△75,031	△511,270
営業活動によるキャッシュ・フロー	△301,339	565,668
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,990	△8,014
無形固定資産の取得による支出	—	△2,799
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	△41,514	—
従業員に対する貸付けによる支出	—	△880
従業員に対する貸付金の回収による収入	380	150
その他の支出	△13,278	△10,544
その他の収入	620	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△56,782	△22,088
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△13	△327
配当金の支払額	△56,985	△216,544
財務活動によるキャッシュ・フロー	△56,999	△216,872
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△415,121	326,707
現金及び現金同等物の期首残高	1,894,832	1,392,565
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,479,710	1,719,272

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

当社連結グループは同一セグメントに属するイベントの「企画」・「制作」・「運営」・「演出」及びそれに付帯する業務を行っており、当該事業以外に事業の種類がないため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 販売の状況

カテゴリー別売上高

カテゴリー	前連結会計年度 (自 平成23年7月1日 至 平成23年12月31日)		当連結会計年度 (自 平成24年7月1日 至 平成24年12月31日)		前年比 (%)
	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	
制作売上高					
博展	—	—	52,600	0.8	—
文化／スポーツ	30,314	0.4	67,544	1.0	122.8
広報	1,486,985	21.8	1,964,532	29.1	32.1
販促	4,556,769	66.7	3,748,149	55.5	△ 17.7
制作物	714,503	10.5	875,399	13.0	22.4
小計	6,788,573	99.4	6,708,226	99.4	△ 1.2
企画売上高	41,128	0.6	41,143	0.6	0.0
合計	6,829,701	100.0	6,749,370	100.0	△ 1.2